

調布まち会だより

No.11
2003初夏号

発行：特定非営利活動法人調布まちづくりの会 / 郵便振込口座：00150-1-136749
〒182-0026 東京都調布市国領3-10-13 / TEL & FAX：0424-88-4022
URL <http://www.annie.ne.jp/~machikai/> E-mail:machikai@annie.ne.jp



調布まちづくりの会から会員を講師派遣

～ かながわ女性センター主催 ～

「社会参加セミナー江の島塾」



ボールに気がついていない人に向かって力いっぱい投げつけている鉄矢さんにみんな大笑い。でも結構こんなすれ違いがありそう・・・と一同納得。

2003年2月22日、調布まちづくりの会会員の久保・鉄矢・江刺さんが、かながわ女性センター主催の社会参加セミナー・江の島塾に講師として招待されました。

このセミナーは、女性の自立と社会参画のために平成9年度から平成14年度(1期～6期)まで企画され、14年度は4日間の日程で行なわれたものです。

当日は講座の最終日。午前は「平成14年度社会参画セミナー江の島塾・政策編アドバンスコース～自らの政策案を実現するために」、午後の部は調布まちづくりの会が担当の「市民の手によるまちづくりの実践～行政と協働でまちづくりに取り組むNPOの活動に学ぶ」というテーマです。雨模様ながら受講生は40名程度。久保喜正さんが会の理事長として挨拶をし、鉄矢悦朗さんがまち会の設立の発

端から今に至るまでの活動を画像をとおして説明、江刺益子さんが市民の手によるまちづくりの実践について、ご自身が市民としてまちづくり活動をしてきた立場からのお話しをしました。後半、鉄矢さんのリードにより、実際にスポンジボールで受講生の方たち同士でキャッチボールをし、「行政と市民の対話について」和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われました。

講座終了後、主催者の方からこのようなスタイルのセミナーは初めてで、非常に面白く、市民のリアルな実践に説得力があり、調布まちづくりの会の皆さんに講師をお願いして良かったと感謝の言葉を頂きました。

(同行記録・報告 / 沖崎剛)

受講生のアンケート結果を次ページで紹介しています。

調布まちづくりの会は:

1996年～1998年に市民参加で策定された「住み続けたい緑につつまれるまち調布 調布市都市計画マスタープラン」の原案づくりに取り組んだ、調布まちづくりの会(1997年1月29日発足)に参加

したメンバーが集まって、1998年10月、新生「調布まちづくりの会」がスタート。

2000年4月には、特定非営利活動法人として新たにスタートし、まち歩きや景観シンポジウムの企画運営などを通して「住み続けたいまち」実現に向け、提言・調査研究・情報提供を行っています。

2003 (平成15) 3/1 ~ 3/2 ~ 第6回まちづくり博覧会に参加~

まちづくり博覧会は1997年に(財)杉並区まちづくり公社のまちづくり活動助成を受けて発足、公社解散後も継続して杉並区内及び他地域の団体が集まって、まちづくり活動の成果の発表や交流を目的に毎年3月に開催されています。

今年の参加団体は約40団体で、それぞれの団体活動発表、シンポジウム、交流パ-

ティ-、パネルポスター展示などが行われました。

調布まちづくりの会は第3回から毎年参加しています。まち会の活動は他の団体からみてどのように映るか確認できますし、また他団体の様々な活動ぶりはとても参考になることも多く、まちづくり活動のインプット、アウトプットの絶好の場となりました。



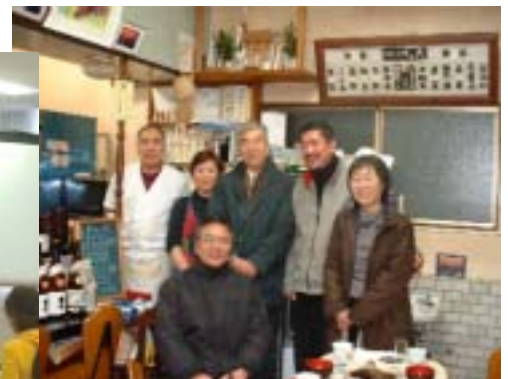
左写真：今回新たにまとめた「活動紹介パンフ」をパネル展示しました。



かながわ女性センター社会参加セミナー 江の島塾・講師派遣報告-つづき



実際に活動してきた中からの話は、共感していただけたようでうれしかった。



写真上：うまい地酒と魚で地元の方達と交流。それでも、3人分の講師料から2万円をまち会に寄付できました。

受講生のアンケート結果について主催者からの報告をご紹介します。

市民の手によるまちづくりの実践アンケート結果 2003.2.22(土)実施 回収総数13枚

非常に満足：3 満足：7 普通：2 不満：0 非常に不満：0 不明：1

受講者の感想

- ・他市の実践が、非常に市民の手の中で行われていることを知りました。情報として役立ちました。
- ・実際の体験で大変勉強になりました。市民がオープンに入れて、自分のやりたいことを実現していくのはよいシステムと思います。
- ・調布のまち会の人たちが"話を最後まできく""けなさない""あげ足をとらない"をはじめに決めたことに納得させられました。
- ・私が参加しているまちづくりは行政が作ったもので年間60万円の予算がついている、しかし行政は口を出さない。
- ・具体例をお聞きできこれからの活動のヒントをたくさんいただきました。
- ・調布市の発表は実際の経験なので話はよく分かりました。
- ・実体が理解できた。
- ・活動参考例として拝聴した。課題点も出ており活動の方向性もつかんでいるようだ。
- ・行政とのコミュニケーションのコツが参考になった。
- ・具体的でかつ説得力もある内容であり、大変参考になった。
- ・市民の知恵をひき出す極意、しかも自分たちで編み出したオリジナルの手法がとても参考になった。市民が楽しみながら真剣に、オープンにすすめること、行政の明確な方針と辛抱強さがガキだと思う。今進行中のナマの情報を惜しげなく話して下さってありがとうございます。
- ・実践の話は興味を持てます。もっと意見交換の時間が持てたらよかった。

情報バリアフリー部会



1 2月から3月末までの取り組み

障害者のためのパソコン応用講座 フォローアップ講習～

昨年11月-12月開催したアクセシブルなホームページ作成入門講座参加者を対象に3月に2回フォローアップ講習会を行いました。風邪などで途中不参加だった方には、基礎からもう一度。講習はサポーターがついてマンツーマンで行いました。今年度もこのホームページ作成講座は継続実施します。



マンツーマンで進む講習風景

月例の定例茶話会

サポートを受けている障害のある市民も、サポーターも、メーリングリストに参加していない方も自由に参加し情報交換しているオフラインミーティングです。12月は終了後有志で近くのファミレスにてクリスマスを行いました。

毎回情報交換、近況体験、パソコン相談、その他さまざまな話題でおしゃべりしています。2月はPSVC2003と同日となったため参加メンバーが少なく、サポーターだけの懇談になったようです。

今後の予定 4/27、5/25 (日) 午後1時30分～4時

ITサポーター入門講座



3月29-30日、たづくりにて今年度最終事業「障害者を支援するITサポーター入門講座」を実施しました。

今回は外部講師としてITエンジニアで川崎パソコンサポートボランティア代表の梅垣まさひろさん、社会福祉士で東京コロニー情報処理センターで障害者能力開発の仕事をしている堀込真理子さんを迎えての講習会でした。



1日目の梅垣さんからは長年の活動体験を踏まえたパソコンボランティアを目指す人たちの心得

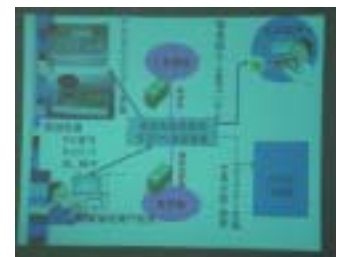


「パソボラ12か条」を学びました。

2日目の堀込さんからは、仕事を通して実践されてきた障害のある人たちのITを活かした能力開発がいかに社会参加を促すか。

お二人ともパワーポイントによる分りや

すいプレゼンテーションやビデオ映像を交えて、とても分りやすいお話をしていただき、参加されたみなさんは熱心に学んでおられました。

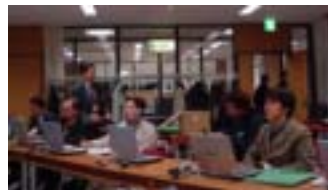


サポーター外部研修参加

全国ボランティア研究集会 & PSVC2003

全国ボランティア研究集会 in 鶴岡市

ホームページの活用や全員パソコンを用いた会議の仕方、合意形成に役立てるパソコンなどについて研修しました。



鶴岡市ネットワークコミュニティセンターで行われた分科会「NPOにおけるITの上手なつかいかた」



パソボラカンファレンス2003 in さいたま

だれでも見られるアクセシブルウェブ制作ポイント講座 障害者用パソコン周辺機器 [らくらくマウス] 工作実習



MLなどで通年活動しています。 サポートを受けたい障害のある方、 サポート活動に参加を希望される方 随時受付中!! 問合せ mail.owaki@nifty.com 担当:大脇まで

部会の情報はまち会のHPをご覧ください。 <http://www.annie.ne.jp/~machikai/jouhou/johotop.htm>

まちのバリアフリー部会 活動報告

一 調布東路線ーコミュニティバス試乗体験



最近、目や耳にすることが多くなった「コミュニティバス」。高齢者や障害をもった人たちなど、さまざまな住民のニーズにあった地域の交通手段。道路の幅が狭く、採算性も悪いというような理由で今まではバスを走らせることが難しかった場所でも、車両を小型のものにしたり、財政的に自治体が助成をして運行するバスサービスのことです。多摩地域では今年1月20日に東村山市「(愛称)グリーンバス」、2月1日東大和市「(愛称)ちょこバス」、3月1日小金井市「(愛称)CoCoバス」と次々に運行を始めています。インターネットで検索すると1万件に近いヒットがあるように、全国各地でその取り組みが広がってきている「コミュニティバス」。調布市では、調布駅南口と飛田給駅北口の間を2000年3月から走り始めた「西路線」に加えて、今年の4月1日から仙川駅と緑ヶ丘地域の間を循環する「東路線」が運行をスタートしました。

乗ってみて、まず「窓が広いなあー」と感じました。満員に近かった車内は「やや狭いかな」という気がしましたが、車いすからでも外の景色を見渡すことができ、とても気持ちがよかったです。

白百合女子大や緑ヶ丘の団地や住宅地を通り抜け25分ほどで仙川駅に戻ってくるまでの間、揺れも少なく快適でした。ただ、道路の幅が狭く、バス停も歩道のないところが多いため、スロープを出して車いすで乗り降りをするには工夫も必要かなと思いました。

後日、運行事業者の小田急バスへ「道幅が狭い停留所が多いですが、車いすの人が乗降するときはどうにするのか、運転手さんに話してあるのでしょうか」と電話で問い合わせました。「車いすの人がいるのがわかれば、対向車があれば待ってもらい右側に停めるようにしています」とのことです。乗降するスペースをとるということでした。

バス停に「車いすのまま乗降できる」という表示がどこにもない。

この路線に限ったことではないのですが、バスの車両にはフロント上部の行き先表示の横と出入り口の横に『車いすとスロープのマーク』がついています。



3 / 31 試乗会 始発の仙川駅から 車いすで乗ってみました

車両は三菱自動車のアロミディ、小型CNG車(幅2m、圧縮天然ガスを燃料としている車で低公害で環境にやさしいとのこと)で定員は34人。低床・ノンステップ。後ろの出入り口に折りたたみ式の簡易スロープ(デクパック=京王線をはじめ、鉄道の駅でホームと車両の隙間と段差解消のために使われている渡り板。バスで使っているのは初めて見ました)が収納してありそれを使って車いすのまま乗り降りすることができます。車内には跳ね上げ式の座席があり、車いすスペース(1台分)になっています。



調布のコミュニティバス「西路線」と「東路線」のバスは、どの車両も車いすのまま乗降できるのですから、バス停に車いすマークがあれば、そこに車いすマークのついたバスが停まっていなくても、いつでも多くの人に車いすのまま乗車できるバスだということがわかります。

まだまだバスへ乗車したことのある車いす使用者は少ないこと、そのご家族の方や一般市民のみなさんにも車いすのまま乗車できるということを、より知っていただくためにも、「ぜひバス停に車いすマークを表示してほしい。」と早速、市の交通安全対策課に申し入れをしました。まず課内で検討してから事業者に伝え、何かしらのお返事をいただけるということです。運行主体の小田急バスと「西路線」の京王バスにも、ホームページからメールで要望を伝えました。

また跳ね上げ式の車いすスペースは、他のお客さんが先に座っているとその方に立っていただかないとならないので、特にその方が高齢の方だったりすると、「申し訳ないなあ」という心理的な負担を感じてしまうことがあります。少なくとも始発の停留所では、他の乗客が乗り込む前にドライバーがまず座席を跳ね上げてスペースを確保し、車いすの乗客を優先して乗車させるといったソフト面での対応も必要だと思います。

それが「コミュニティバス」なのだから

利用者の身近で日常的な「足」として定着していくためには、どんどん利用して、何か不都合なことや「こうしてほしい、ああしてほしい」という要望があれば、運行している側にきちんと伝えていくことが大切だと思います。市民・利用者と自治体、そして事業者が一緒になって育てていく、それが「コミュニティバス」なのだから。

そのためには例えば、バスのニックネームを広く

右写真
徹底した調査と改善提案を即実行
してしまおう新井昭子会員。



市民に公募するといったことも必要だと思うのですが、今のところ市としてはそういった予定はないということです。ボディに「ゲゲゲの鬼太郎」が描かれているので、そのうち「鬼太郎バス」などと呼ばれるようになるのかもしれませんが...

ぜひ一度、みなさんも「鬼太郎バス」(?)に乗ってみてくださいね!

(レポート 新井昭子・東 直史)

運行経路 仙川駅～緑ヶ丘循環～仙川駅

仙川駅 仙川 白百合女子大学入口 緑橋 白百合女子大学 緑ヶ丘団地北
第三仲よし広場 児童館・福祉センター入口 みどりきた児童遊園 北野四丁目
柳川公園 みんなの森入口 市民テニスコート入口 柳川橋 仙川駅



資料

運賃：200円均一（こども100円、身障者割引半額・介護人1人まで半額）、共通バスカード、シルバーパス利用可

運行時間（始発～終発）

6：30～21：44

停留所：14箇所

運行回数/日：36回

運行主体：小田急バス（株）

<http://www.odakyubus.co.jp/>

凸凹山ワークショップパネル展示

2 / 8 ちょうふ環境市民懇談会・全体会に参加



2003.2.8(土) 調布市市民センターで、調布の自然を守る活動をしている13団体が参加して、「ちょうふ環境市民懇談会」全体会が開催されました。

野川里山探検隊・人間樹林の会・雑木林塾・田んぼの学校・市環境モニター・子供エコクラブ等10団体が日頃の活動を発表し、市内で雑木林の保全活動をしている皆さんによるパネルディスカッション「今なぜ雑木林塾なのか」もおこなわれました。まち会のメンバーも参加してきた、通称「凸凹山公園づくり」はパネルを作成し展示しました。平成12年から始まった市民と行政の協働による凸凹山公園づくりでは、ワークショップを行ったり現地でのいろいろなイベントをしながら、出来るだけ市民の手で公園をつくらうということになり構想プランもできました。

～凸凹山(布田崖線緑地)への想い～

この活動で知り合った方々と大変良い人間関係ができたおかげでとても楽しく活動を続けてこられた。

ワークショップの始めの段階では、数回の現地視察をもとに主にミーティングで、いろいろな活用案を出し合ってきましたが、次の段階では、年間を通して現地での活動を重視しようということになって、四季を通じて現地の自然の様子を観察したり、遊びを演出するという活動を行うようになってきた。

初めて現地でイベントをした時は、12月初旬でしたが、小春日和といった暖かさでゆったりとした時間が流れる別世界で過ごしたようなそんなイメージが今でも残っています。

現地の昔の様子を地元の方に語ってもらい、あとはみんな思い思いに木の葉や木の実を集めてオブジェを作る人、農家から分けてもらったわらで縄をなう人、枯れ枝や竹の枝葉で隠れ家をつくる人、実物の葉っぱで大きな植物図鑑を作る人、木で楽器をつくる人、等々。子どもたちはできあがった縄でブランコやターザンごっこの仕掛けを作ってもらって

遊びました。原始時代の一部落はこんなだったのかなと思うような雰囲気になっていました。

以前、森部宅がまだあったころから、子どもたちがハケ下の空き地を遊び場にしていたことを知っていましたし、30～40年ほど前は水辺だったことを聞いていたので、いつかこの場所もなくなってしまうのではないだろうか、それを惜しむ気持ちが強かったから活動しているのかな？

様々な想いで多数の市民が参加されているね。

まちに住む私たちにとって魅力を感じる場所は「豊かな自然」だと思いますが、手つかずで、藪のような場所が好ましいと思う人は冒険心や探求心の強い人ですが、その人の好みで進められたら一部の人しか入れなくなってしまう。

しかし、小さい子どもからお年寄りや車椅子の人までも来てもらえる場所に、ということを最優先にし過ぎると自然保護ということからは遠ざかってしまいがちになる。

その辺のかね合いの部分で今回のプラン作りでは、みんなですいぶん話し合い、私自身本当に勉強になったと思っています。



～ 夢 . . . ～

市街地に少しずつでもいいから緑の“点”を増やし、“線”にしていきたい。

身近なところからでも実行して行くべきですね。

私自身は、月一回の公園づくりに参加することによって日頃使わない筋肉を動かし、心地よい汗を流したり、木々の緑や草のにおい、風の音、鳥の声に包まれて、心が落ち着く。これからはずっとかかわり合っていくつもりです。

公園づくりプロジェクトは現在進行中 第4日曜午前10時から12時頃まで

月1回、現地を開放して活動をしています。関心をお持ちの方はどなたでもぜひご参加ください。家族と一緒に大歓迎です。(報告：石原昌子・大久保喜正)

2001年度(平成13年度)特定非営利活動に係る会計

貸借対照表

(2002年3月31日現在) (単位 円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
[資産の部]		[負債の部]	
流動資産		流動負債	
現金預金	670,129	未払金	2,818,545
売掛金	3,979,500	流動負債合計	2,818,545
流動資産合計	4,649,629	負債合計	2,818,545
固定資産	0	[資本の部]	
固定資産合計	0	資本金	
その他資産		資本金	0
前払費用	112,000	資本金計	0
前渡金	20,000	剰余金	
敷金	55,000	当期未処分利益	
その他資産合計	187,000	前期繰越利益	688,284
		当期純利益	1,329,800
		剰余金合計	2,018,084
		資本合計	2,018,084
資産合計	4,836,629	負債及び資本合計	4,836,629

損益計算書

(自2001年4月1日 至2002年3月31日)

(単位 円)

科目	金額	
経常損益の部		
[営業損益]		
売上高		
受託 会費	4,216,250	
寄付金	110,070	
協賛金	1,100,500	
	30,000	
売上高計	5,456,820	5,456,820
売上原価		
受託 自主	2,822,545	
	103,355	
売上原価計	2,925,900	2,925,900
売上総利益		2,530,920
販売費及び一般管理費		
受託 自主	839,120	
	369,620	
販売費及び一般管理費	1,208,740	1,208,740
営業利益		1,322,180
[営業外損益]		
営業外収益		
雑収入	7,620	
営業外収益計	7,620	7,620
経常利益		1,329,800
税引前当期利益		1,329,800
当期利益		1,329,800
前期繰越利益		
受託 自主	365,565	
	322,719	
前期繰越利益計	688,284	688,284
当期未処分利益		2,018,084

インフォメーション

5月31日(土)
調布地域通貨懇談会
午後6時半～午後9時半
文化会館たづくり11階
みんなの広場
6月7日(土)
地域通貨体験イベント
午後1時半～午後4時
文化会館たづくり10階
1002学習室

調布まちづくりの会 定期総会開催

6月21日(土)午後6時～
総合福祉センター団体室で
定期総会を開催致します。
会員の皆様、万難を排して
お集まり下さい。

..... 会員募集中!

特定非営利活動法人 調布まちづくりの会

会費：年2,000円
定例会

日時 / 毎月第1水曜日
19:00～21:00

場所 / 総合福祉会館2F
団体室 (グリーンホール隣)

次回定例会は6/4(水)です

【編集後記】野川の桜ライトアップに市民力が発揮された春、一方で自治体選挙・イラク戦争など世の中騒がしくあわただしい毎日でした。そんな中、神代植物公園のハンカチノキがはじめて花をつけたというので見てきました。まさに白いハンカチのようでややグリーンがかった涼やかな花でした。

ところで、まち会事務所の賃貸契約は更新しないことになりました。新事務所探しにご協力下さい。どうぞよろしく。(江刺益子)

まちづくり 交差点

相互塾

調布市総合福祉センター午後7時～9時

- 第40回 5/26 報道TVカメラマンよもやま話
若林 茂さん(元NHK報道カメラマン)
- 第41回 6/30(月) 連立ってな～に
松月謙吉さん(京王電鉄取締役)
- 第42回 7/28(月) 山歩きと野の花
横山譲二さん(野の花めぐり主宰)
- 第43回 8/24(月) 人形たちの懸け橋
武田英子さん(童話作家)
- 第44回 9/29(月) IT競争力世界1位のフィンランド 戸田冬樹さん(元電気メーカー勤務)
- 第45回 10/27 映画文化の発信地・調布の将来
稲葉千穂子さん(シティライツ代表)

午後のティーサロン

：国領しゃろ～む
第5回 7/13(日) / 午後2時～4時半
サスペンス映画の巨匠アルフレッド・ヒッチコック

うたごえサロン

：国領しゃろ～む
毎月第3金曜日 / 午後2時～4時半 / 会費1000円
連絡先：90-3773(干場) 後援：調布まちづくりの会

(問合せ：TEL/FAX 83-9993 森下)

まち会事務局だより 2003.2-2003.5

市民活動支援センター開設準備協議会

(平成15)3003.4.11(金)19:00～20:30、たづくり9F研修室において、国領駅北に設置される予定の「市民活動支援センター設置説明会」が行われ、施設の目的・設置場所・施設用途・施設内容について政策室、市民参加推進室、産業振興室から説明がありました。

市民活動支援センターには、男女協同参画推進センター、産業振興センターも含まれ夫々協議会が設置された。このうちの「ボランティア・NPO支援センター開設準備協議会」にNPO団体から調布まちづくりの会・パソコンサークル・市民フォーラム・環境市民懇談会などから公募委員が参加する。任期は原則1年。

何をきめるのか? / 開設準備協議会の目的は、市内で活動するボランティア及びNPO等を支援するための拠点となる支援センターの開設に向けて、このセンターにどのような機能をもたせるか、運営をどうするかなどを市民参加により協議する。

傍聴について / 傍聴可。通常、傍聴者は発言できない事が多いが、意見を述べる時間を作るとか意見をメモ書きして提出するなどの機会を作りたいと考えています。第1回協議会が5月15日(木)実施されました。(報告:大久保喜正委員)

第2回協議会 5/29(木) 第3回 6/19、第4回 7/17
第6回 8/21 / 場所:たづくり9F研修室 19:00～
担当:生活文化部市民参加推進室市民交流係 TEL 41-6112